

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。



工業部会TRYプロジェクト 京セラ工場を視察

国分工場など訪問



参加した工業部会の会員企業

工業部会TRYプロジェクトは1月24、25の両日、鹿児島県「京セラ」関連視察ツアーを開催した。当日は18人が参加。京セラの鹿児島国分工場（霧島市）のほか、「日本最大級の太陽光発電所」として知られる鹿児島七ツ島メガソーラー発電所（鹿児島市）などを視察した。

県優良工場と優良小規模企業者 工業部会員2社が受賞



受賞した2社と関係者

ものづくり産業の発展に貢献している企業を表彰する県の「平成30年度優良工場」がこのほど発表され、コバヤシ精密工業（南区大野台）が受賞、同じく小規模事業者を対象した「優良小規模企業者」にボード・プランニング（緑区西橋本）が選ばれた。

「県優良工場表彰」は県内の中小製造業のうち、経営成績、作業環境、生産技術などが特に優れ、労働災害や公害の発生防止、環境関連手続の遵守にも取り組む工場を表彰する制度。1958年から今年度までに計733工場が受賞した。

七ツ島発電所も見学

初日に訪問したのは「京セラ鹿児島国分工場」。同工場では、フライングロボットなどの優れた電気特性を生かしたコンデンサや高周波モジュールなどを製造。また、高純度な人工水晶を応用した水晶関連製品なども手掛けている。特に、小型・高容量・高性能を推進した「積層セラミックコンデンサ」は、スマートフォン（多機能携帯電話）、IoT（モノのインターネット）機器などの需要に伴い生産を増強している。

同工場は、鹿児島県出身の創業者稲盛和夫名誉会長が鹿児島に建設した工場の中でも、1969年設立の川内工場に次いで二番目に古い歴史のある工場となっている。翌日は鹿児島七ツ島メガソーラー発電所を視察した。

同施設の発電出力は70メガワットで、日本最大級の太陽光発電所となっている。およそ鹿児島県の2・2%、鹿児島市内の8・8%に相当する電力を発電しているという。その迫力に参加者たちは圧倒されていた。

最後に、一行は視察後に観光として桜島に移動。フェリーにて島に上陸し、島内をドライブしたほか、有村溶岩展望所を見学した。

「身の丈IoTツール」集合 3月に展示会開催

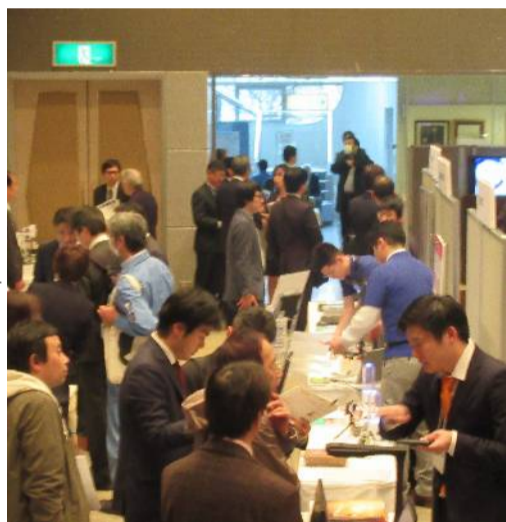
工業部会が主催

低コストで導入しやすい「身の丈IoTツール」に絞った展示会が3月12日の午後1時半～同6時半まで、相模原市立産業会館（同市中央区中央）で開かれる。「ものづく

と銘打った同展示会は、相模原商工会議所工業部会が主催し、県内13商工会議所などが協力する。入場無料（事前申し込み不要）。人手不足解消や生産性向上の切り札として期待

されるIoTツールだが、中小・小規模企業には普及していないのが実情。そのため、今回のような展示会を通じて導入を後押しする。

当日の出展予定数は24社。各社ともユニークな「身の丈IoTツール」を展示する。また、現場にはITコーディネーター



昨年の展示会の様子

が常駐。IoTについての知識がなかったり、活用方法が分からなかったりする中小製造業（ユ

ザー側）と、専門的な説明をしがちな出展企業（ツールベンダー）との「通訳」を担う。

SIC増築棟

企業の入居 募集を開始

さがみはら産業創造センター（SIC、緑区）は、ロボットやバイオなどの成長分野でベンチャー企業の育成を強化する

ため、敷地内に「SIC増築棟（仮称）」を建設し、9月にオープンさせる。

成長産業の研究開発（R&D）拠点と位置づけ、県内や都内からも企業を募り支援。成長分野で優れた企業の集積を目指している。現在、入居企業を募集している。

敷地面積2500平方メートルに鉄骨造りの地上6階建ての施設を建設。1階にラボタイプを4部屋、2・5階にセミラボタイプの部屋を設ける。1社で複数の部屋を利用できる。

住み続けるほどに実感する快適性能



朝日建設株式会社

0120-18-0955
http://www.asubiki.co.jp/ 朝日建設 検索